

新入生履修スタートガイド

新入生の皆さん、東京外国語大学国際社会学部への入学おめでとうございます！

「新入生履修スタートガイド」には、新入生が春学期の授業をうけるために最低限必要なことを凝縮してあります。春学期の時間割をつくるには、まずこのスタートガイドから読んでみてください。

「国際社会学部の先生の専門分野を知りたい」「卒業論文はどんなテーマでみんな書くの?」と思ったら、『国際社会学部の歩き方 2020』もぜひ読んで下さい。これからの勉強のイメージがつかみやすくなります。

1. 大学の情報を知るー在学生ページと学務情報システム

大学ホームページー学務情報システム

1. 大学ホームページのトップから

2. 「在学生の方へ」をクリック

3. 下の方にスクロール・・・「学務情報システム」をクリック

4. 各自のIDとパスワードでログインする。

学生の皆さんは大学 HP から多くの情報を得ることができます。

トップページの上部から「在学生の方へ」をクリックすると、在学生に必要な情報がまとまったページにいきます。

そのページの下にスクロールすると、「学務情報システム」の入り口があるので、ID とパスワードが交付されたら、まずは学務情報システムにログインしてみてください。

授業の登録や成績の確認など、大学生活に必要な手続きの多くは学務情報システムを通じて行います。

大学のメールアドレス (・・・@tufs.ac.jp) 宛に大事なお知らせは全部届きます。交付されたら tufs アドレスのメールは必ず見られるようにしておいて下さい。

シラバス

授業の内容を知るために欠かせないのが「シラバス」です。シラバスから、面白そうな授業を見つけることもできます。まずは色々な授業のシラバスを見てみてください。

各回のおおよその内容や、成績評価、参考図書など授業を知るための情報が書かれています。

シラバス検索の入り口は大学 HP の在学生のページにあります。

授業の内容を知るーシラバス

大学HP→在学生の方へ→シラバス検索

授業の目標、授業計画、成績の評価・・・などの授業に関する詳細な情報が載っている。

条件を入力して「検索」

2. 大学の授業の基本

クォーター制—4 学期制とアクティブラーニング



東京外国語大学はクォーター（4 学期）制です。春学期と秋学期に多くの授業が開かれ、履修はこの二つの学期が中心になります。それに加えて夏学期と冬学期には、集中形式の授業が開かれるほか、短期留学やインターンシップなど、普段はできない多様なプログラムに挑戦することができます。

春学期と秋学期は、13回の授業と2回分のアクティブラーニングで構成されます。アクティブラーニングは、学生の皆さんが主体的に学びを深めるための課題に取り組みます。

2020 年度は、新型コロナウイルスの影響で学期の開始等が変則的なので、大学からのお知らせを気をつけて確認するようにして下さい。

単位って何？

授業を受けて所定の試験等（試験のほかレポートなど評価方法は授業によって色々です）に合格すると、単位が与えられます。原則として講義科目や演習科目は一つの授業が2単位、言語科目は一つの授業で1単位です。

大学を卒業するためには、**125 単位以上** を取る必要があります（**卒業所要単位**といいます）。

Q. 取りたい授業で自由に125単位取ればいいのですか？

A. 卒業所要単位の内訳には様々な条件があります。『履修案内』の29ページで自分の専攻言語／専攻地域の卒業所要単位の内訳を確認しておきましょう。

成績は大事！

授業の単位が認められる際には成績もつきます。成績はSからFまであります（Fは不合格）。成績を数値化して、全体を示したのがGPA(Grade Point Average)です（計算式など詳しくは『履修案内』の22ページを見てください）。GPAは、留学の選抜や奨学金の選考に用いられることもあります。

授業にしっかり取り組むようにしましょう。

授業を履修するためには自分で履修登録をする

大学の授業を取るには、自分で履修登録をすることが必要です。履修登録期間の期間内に、自分で登録することを忘れないようにしましょう。履修登録は、「学務情報システム」にログインして行います。

履修登録期間は、春学期だけでなく夏・秋・冬の各学期にあります（年4回）。まずは春学期の授業だけ履修登録すれば大丈夫です。修正があれば履修登録修正期間に手続きをしましょう。



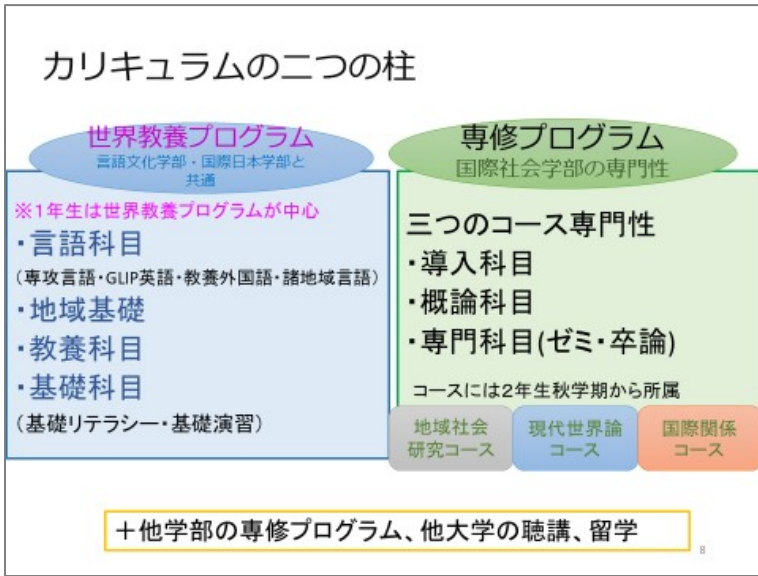
Q. 履修登録を忘れてしまっていたけど、授業に出席していれば、単位は認められる？

A. 認められません。授業の履修は、学生が自覚と責任をもって行うものです。履修登録は必ずして下さい。



3. 国際社会学部のカリキュラム

専修プログラムと世界教養プログラム



国際社会学部のカリキュラムは、「世界教養プログラム」と「専修プログラム」の二つの柱で構成されています。

東京外国語大学のカリキュラムは、言語科目がとても多いことが特徴の一つですが、言語科目は世界教養プログラムで開講されています。

世界教養プログラムは、言語文化学部、国際日本学部と共通の授業です。それに対して専修プログラムは、国際社会学部固有の専門性にもとづく授業です。国際社会学部のコースについて詳しくは『国際社会学部の歩き方 2020』をみて下さい。

進級要件

一定の単位数の条件を満たさないと、3年生になることはできません。それを進級要件といいます。計画的に履修をすれば、1年生のうちに進級要件の多くを満たすことができます。1年生の皆さんは、まずは進級要件を確実に満たせるように、時間割を組んで下さい。

→ 〈重要〉『履修案内』31 ページもみてください。

・専攻言語と地域基礎

進級要件	
2年次末までに以下の要件を満たさないと、3年生に進級できません。	
専攻言語	15単位
地域基礎	6単位
基礎リテラシー	1単位
基礎演習	2単位
導入科目	8単位
(所属するコースの授業を2単位以上含むこと)	

専攻言語
詳細は言語別・地域別オリエンテーション

黄色い枠のグループの各言語は、専攻言語の単位数を1年生で10単位修得しないと、2年生の地域言語が履修できない。
→進級要件を満たせない。

<ul style="list-style-type: none"> ・英語 (北アメリカ、北西ヨーロッパ) ・ドイツ語 ・フランス語 ・イタリア語 ・スペイン語 ・ポルトガル語 ・ロシア語 ・中国語 ・朝鮮語 ・アラビア語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーランド語 ・チェコ語 ・ウズベク語 ・モンゴル語 ・インドネシア語 ・マレーシア語 ・フィリピン語 ・タイ語 ・ラオス語 ・ベトナム語 ・カンボジア語 ・ビルマ語
--	---

1年次に10単位
一括認定
(非モジュール)

1単位ごとに認定
(モジュール)

進級要件にもなっている専攻言語と地域基礎は1年生の皆さんにとっては特に重要な授業です。

専攻言語は指定されたクラスでの履修が必要なので、各専攻言語の指示を必ず確認して履修登録をして下さい。

地域基礎も専攻地域ごとに履修指定された授業があります。地域基礎は『授業時間割』の66 ページに説明があります。

『授業時間割』の冊子から開講学期・曜日時間が変更になった授業がいくつかあります。変更後の情報は、Web シラバスを確認してください。



・導入科目 → 『授業時間割』 71 ページ

専修プログラムで開講されている専門分野の入り口の授業です。8 単位以上が必要です。

・基礎リテラシーと基礎演習 → 『授業時間割』 9～10 ページ

大学での学び方を身につけるための授業です。基礎リテラシーは、国際社会学部生は全員、春学期火曜日 1 限です。基礎演習は、秋学期に指定されたクラスで履修します。いずれも進級要件なので、1年生のうちに必ず単位を取りましょう。

4. 春学期の時間割をつくろう

それではさっそく春学期の時間割をつくってみましょう！1年生が時間割をつくる際には、履修指定のある必修科目をまずはいれて、進級要件を早くに満たせるように意識しましょう。

春の履修登録では、春学期の授業だけをまずは登録すれば大丈夫です。

	月	火	水	木	金
1限 8:30-10:00					
2限 10:10-11:40					
3限 12:40-14:10					
4限 14:20-15:50					
5限 16:00-17:30					

その1. ①専攻言語 ②地域基礎 ③基礎リテラシー を入れる。



どれも履修指定されたクラスがあり、かつ進級要件の必修授業です。まずはこれらの授業を時間割の骨組みにしましょう。基礎リテラシーは履修登録を忘れがちなので、登録を忘れないように特に気をつけてください。

その2. 導入科目を入れる。



導入科目は開講されている授業のなかから興味のある授業を選んで履修します。進級要件なので2年生の終わりにまでに8単位取ってください。履修の条件は『履修案内』47ページを参照。

1年生の春学期は、導入科目の履修は1コマ程度で大丈夫です。



その3. 教養科目、GLIP 英語／教養外国語、他学部の授業を入れる。

進級要件ではありませんが教養科目や、GLIP 英語科目、教養外国語は卒業所要単位に含まれる授業で、1年生から履修できます。また、言語文化学部、国際日本学部の授業も履修できます。他学部の授業は「[関連科目](#)」(『履修案内』の49ページ参照)として卒業単位に入ります。

専攻言語が初めて学ぶ言語の場合は、原則1年生の春学期に教養外国語はいれません。専攻言語が既に学んだことのある言語(英語等)で、教養外国語を履修する場合は1年次の春から始めるひとも多いです。



その4. 単位数を足して、「50単位上限ルール」を守れているか確認しましょう。



履修登録できる授業は年間50単位までというのが「50単位上限ルール」です(一部例外の授業あり)。春学期の授業数はどれくらいが良いのかな、と思ったら春学期に履修予定の授業の単位数を全部足してみてください。1年生の春学期の目安は15~20単位です。履修する授業が多すぎると課題がこなせなかったり、予習復習が追いつかないなど後で大変になります。

とくに1年生は大学生活にまだ慣れていないので春学期の授業が多くならないように気をつけましょう。

履修登録の流れ—学務情報システムにログインして行います



履修登録（一次）4/13-17

授業時間割とシラバスを手がかりにして、自分の時間割を作成できたら全部履修登録をして下さい（後で修正できます）。ここで登録をしないと、第一回の授業にオンラインで参加をすることができません。

4/13 までに tufs のメールアドレスを使えるようにしておいて下さい。

履修登録（二次）4/20-24

一次で登録した授業の履修中止、または履修登録の追加をすることができます。

履修登録修正期間 4/27-5/8

登録した授業を変更できる最後の手続きです。履修中止、履修登録の追加ともできます。

〈『国際社会学部の歩き方 2020』5 ページの表の修正です〉

国際社会学部の導入科目（2020 年度）

2020 年度に開講する各コースの導入科目は以下の通りです。授業内容はシラバスで確認して下さい。

春学期・夏学期開講

科目名	担当者	学期	曜限	教室
歴史社会研究入門1	福嶋 千穂 [FUKUSHIMA Chiho]	夏学期	集中	
歴史社会研究入門1	篠原 琢 [SHINOHARA Taku]	夏学期	集中	
政治社会論入門	大川 正彦 [OKAWA Masahiko]	春学期	木1	102
社会関係論入門	五十嵐 ミュゲ [IGARASHI MUGE DANE]	春学期	火4	227
法学入門1	鈴木 美弥子 [SUZUKI Miyako]	春学期	火5	115
政治学入門1	松永 泰行 [MATSUNAGA Yasuyuki]	春学期	木2	114
政治学入門2	若松 邦弘 [WAKAMATSU Kunihiro]	春学期	月5	108
経済学入門1	蒲生 慶一 [GAMO Keiichi]	春学期	月2	101
経済学入門3	チョイ イーケオン [Choy Yee Keong]	春学期	月4	109

秋学期・冬学期開講

科目名	担当者	学期	曜限	教室
歴史社会研究入門2	巽 由樹子 [TATSUMI Yukiko]	秋学期	水3	115
地域社会研究入門1	小川 英文 [OGAWA Hidefumi]	秋学期	水3	
地域社会研究入門2	木村 暁 [KIMURA Satoru]	秋学期	水4	
政治社会論入門	大川 正彦 [OKAWA Masahiko]	秋学期	木1	102
社会関係論入門	金 富子 [KIM Puja]	秋学期	水2	
世界認識論入門	中山 智香子 [NAKAYAMA Chikako]	秋学期	月5	
世界認識論入門	本橋 哲也 [MOTOHASHI Tetsuya]	冬学期	集中	211
法学入門2	鈴木 美弥子 [SUZUKI Miyako]	秋学期	火5	115
政治学入門3	中山 裕美 [NAKAYAMA Yumi]	秋学期	火4	101
政治学入門3	土井 翔平 [DOI Shohei]	秋学期	木4	115
経済学入門2	蒲生 慶一 [GAMO Keiichi]	秋学期	月2	115
経営学入門	渡辺 周 [WATANABE Shu]	秋学期	火4	114